

# 今を未来に

## 学校評価アンケートの結果のお知らせ



本年度も2学期末に、保護者の皆様とお子様にご協力いただき、少しでも学校をよくするために願って、学校評価アンケートを実施させていただきました。保護者の皆様のアンケート回収率は96.9%（昨年度比+2.1%）でした。皆様が学校のこと・お子様のことを普段からよく見て、考えていただいていることが、伝わってまいりました。本当にありがとうございます。

その中に、無記名ではありましたが次のようなご意見をいただきました。「前年度のアンケートの回答は否定的なものばかりでした。読んでいてガッカリしました。何を言っても変わらないのであれば何も言わなくなりますね。子どもも大人も同じだと思います。9のアンケートのようにやってみようとする姿勢を学校にもみせていただきたいと思います。意見や要望をつぶしていくだけの回答でないことを期待しています。」確かにおっしゃる通りだと思います。そう受け取られることがないようにと、アンケートでいただいたご意見に対しては、一つひとつ実現していく方法はないかといった視点で、まず考えるようにしています。また、教職員が気づいていなかった見方については、真摯に受け止め実行の道を探って回答をしてきたつもりです。一方で、いただいた意見の中には、教職員が意図を持って取り組んでいることも多く、それについては意図をきちんとお伝えしたいと考えて回答をします。ご意見を出してくださった保護者の方からすれば、「出した意見に対して否定をされた。」と、受け取られることになっているのだと思います。それを防ぐために、記名をいただいた保護者の方には、その内容によっては担任を通して直接回答させていただいたりして、問題解決に努めても参りました。今年も、記名をいただいた方につきましては、できる限り担任が対話を持って対応するようにしてまいりますので、どうかご理解いただきたいと思います。

それではまず、4段階で回答いただいた結果をお伝えします。別紙の集計表をご覧ください。今年度と昨年度が比較できるようになっています。集計表の右側には、評価3と4の方の割合を%で示させていただきました。学校やお子様の様子で「満足しているほう」と考えていただいている方がどれだけみえるか集計した事になります。また、昨年度との「評価の差」について、水色になっているのは昨年度より+2%以上、青色は+10%以上（今年度はありませんでした）、濃いピンク色は-2%以下を示しています。

### 「豊かな感性」について

子どもたちの回答はほぼ昨年度と同じような結果となっていました。その中で、「2. 自



分や友だちを大切にしていますか」という問いに対しては、96.9%の子どもたちが肯定的回答をしてくれました。その一方で「17. いじめやなかまはずしはしていませんか」では、昨年とほぼ同じ10.8%の子どもたちから否定的回答が返ってきていることは重く受け止めたいと思います。いじめやなかまはずしが多くなっているというより、その解決が確認をされていなかったり、これくらいは友だちを傷つけていない、いじめやなかまはずしに当たらないと捉えてはいけないという友だちを大切に子どもたちだからこそ、まだ解決をしていないのではないかと、友だちを心配して回答する子が一定数いるということだと考えています。

一方、保護者の方からの回答は、「1. お子さんは自分のよいところが言えますか」では+2.1%ではあったものの、横ばいか満足度が下がり、7割前後の範囲内で肯定的回答が留まっており、集中的取り組みが必要であると受け取りました。その中でも「5. すすんであいさつをすることができますか」(子どもアンケート5. すすんであいさつをしていますか)については、保護者の方もお子様も昨年度より満足度が低くなっていました。学校生活の場面においては、きちんと挨拶ができるお子様が増えてきたと私たち教職員は感じていましたので、家庭とも協力して取り組まなければならないと感じました。

また、「3. 自分の思いを相手に話すことができますか。」(子どもアンケート3. 自分の思ったことを相手に話していますか。)は、肯定的回答が68.6%(子ども80.4%)に留まり、さらに「4. 人の話を聞くことができますか」(子どもアンケート4. 先生や友だちの話を聞くように心がけていますか)では、子どもたちの回答は肯定的回答が91.5%と高くはなっているものの、前年度比は-1.7%となり、保護者の方の肯定的回答も前年度比-2.2%で73.7%に留まりました。本校の研修テーマでもある「聴き合い語り合う授業づくり」はこの「話す・聞く(聴く・訊く)」ことがもっとも大切なことと考えているだけに、今後も「話す力」と「聞く力」(聴く力・訊く力)は表裏一体のものであるという意識を持って、子どもたちと一緒に取り組んでいきたいと思ひます。

### 「やり切る態度」について



3本柱の中でこの「やり切る態度」に関するアンケートについては保護者の方もお子様も肯定的回答が増える傾向にありました。その中で、「子どもアンケート9. いろいろなことをやってみたいという気持ちがありますか」については、唯一肯定的回答が前年度比-2.3%の89.6%となりました。このことが前述した保護者の方のご指摘に当たるとすると、私たち教職員がお子様のやる気を引き出せていない、私たち教職員がやってみようとする姿勢を示していないということになります。高い肯定的回答率ではあり

ますが、「子どもアンケート18. 授業で学習したことは、将来の役に立つと思ひますか」も肯定的回答は-2.0%であったことと重ねて捉え、やってみたいという気持ちや姿勢がお子様を伸ばす原動力になることを、教職員全員で再確認したいと思ひます。

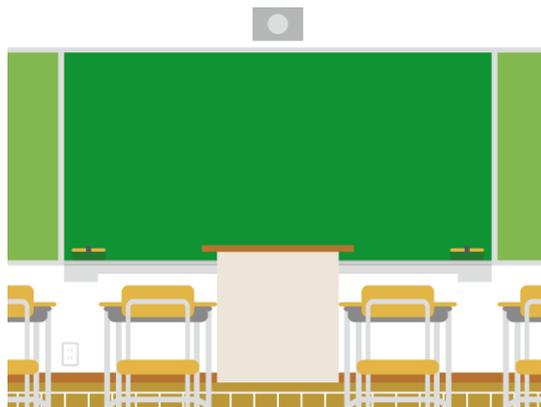
「6. いろいろなことを最後まで「やりとげる」ことができますか」(子どもアンケート

6. いろいろなことを最後までやりとげていますか) は、肯定的回答がともに+3%となりました。お子様の努力が認められ、子どもたちも自分で最後までやり切ることが大切になっているという意識が持てつつあるのだと思います。そのことが「7. 家庭学習をする習慣がついていますか。」(子どもアンケート7. 毎日家庭学習をしていますか。)にも結果として表れてきています。「8. 読書をしていますか」(子どもアンケート8. 読書をするのが好きですか) は、肯定的回答の割合は他の項目に比べて低いのですが、毎年改善方向にあります。図書室の蔵書の充実のため、PTA費からもご支援いただき、図書室や学級文庫に読みたくする本が増えてきたことや、読書推進校として委員会の子どもたちが図書室に行つて本を借りたくするようなイベントを行なつてくれたことなどが、この結果に結びついてきているのだと思います。

### 「生きぬく基礎」について

この項目については、昨年度に引き続き、子どもたちは非常に高い肯定的回答を示してくれました。食後の歯磨き、わからないことは尋ねる、安全に気をつける、約束やきまりを守る、基礎学力がついてきているなどが身につくことで、「すこやか」な生き方を身につけ、「まなぶ」力のもととなつていくと考え、この保々地区では保幼の時期から取り組んでいます。その成果が、小学校期に出つつあるのだと捉えています。

一方で保護者の方の回答を見ると、昨年度やと肯定的回答が8割を超えた「12. 約束やきまりなどを守る姿勢が身に付いていますか」では-3.7%となつて再び8割を割り込んだり、「14. 育ちのプログラムをもとにして、ご家庭でもお子さんの将来を見据えて、言葉がけをしたり、支援したりしていただいていますか」では、ほぼ昨年度と同じ64.4%の方の肯定的回答に留まったりしていました。大きな行事のねらいをお伝えする時や、学期末にお渡しする総合的な学習の所見欄には6視点を示していますが、もっといろいろな形で保護者の方にもお伝えし、「18年間の育ちのプログラム」を指標として活用していただけるように引き続き取り組んでいきたいと思つています。約束やきまりが守られていないと感じられたところにつきましては、その都度担任にも教えてください。子どもたちともしっかりと向き合っていきたいと考えるからです。



### 「市からのおたずね」について

4項目すべてに保護者の皆様からは85%を超える高評価をいただきました。が、その中で「19. 学校は保護者の方や地域の方が授業などに参加する機会を設けていると思いますか」では、高い肯定的回答94.8%とは言え、昨年度比-3.8%となったことにつきましては、保々小学校コミュニティースクールの運営委員の皆様からも具体的な意見をいただきながら、改善していきたいと思つています。「18. 学校は一人ひとりの違いを受け止めて、子どもの理解・支援を適切に行っていますか」では肯定的回答が+4.6%の87.3%にまで改善できてきたと

評価いただきましたことには、学校で働く教職員の自尊感情の高まりにつながるものと、受け取らせていただきました。引き続き、「一人ひとり」という視点を大切にして、お子様方をみていきたいと考えています。

### 記述いただいたご意見・ご要望について

学校アンケートでは、「保々小学校をさらによくするためのご意見・ご要望」を保護者の方に、「学ぶことが楽しい学校」になるためにどのようなことを行うとよいのかを4年生以上の子どもたちに記述してもらっています。

保護者の方からのご意見・ご要望の中で、記名をいただいていた方には担任が直接話をさせていただいたり、普段からの家庭訪問や個別懇談会で話し合われた内容もありましたので、その内容については回答を省かせていただいたものもあります。また、無記名の方からのご意見・ご要望につきましては、文書による回答は控え、職員間で共有し、今後の取り組みに生かしていきたいと思えます。

子どもたちからの意見は、それぞれの学年・学級で普段から大切にしていることを、自らができること、仲間とともに大切にしたいこととして書かれている内容が多く出されていきました。また、今年の特徴として、学校生活の中でここを修繕してほしいなあと思うことが、6年生を中心に多く出されていきました。

今年も18年間の育ちのプログラム・学校づくりビジョンに合わせてご意見を分類し、回答させていただきます。

### 【保護者の皆様からいただいたご意見に対する学校の考え】

#### ○聴き合い語り合う授業づくり

保護者の皆様からのご意見	学校側の見解
<b>生きぬく基礎【まなぶ】</b> 学校で丁寧に見て頂いているので、子どもが考えようとしたり、理解したいという気持ちを持つようになってきたと思います。いつもありがとうございます。	どの学級でもそのように子どもたちが成長できるように、教職員間でも学び合い、授業づくり・仲間づくりに取り組んでいきます。

#### ○支え合う仲間づくり

保護者の皆様からのご意見	学校側の見解
<b>豊かな感性【つながる】</b> 先生は、子どものことをよく見て悪いことは、しっかりと注意などをしていただいていると感じます。学校帰りなどで、友人どうしでトラブルがあれば、子どもの口から話を聞いてもらうことによって、本人の話すことへの自信につながり、子どもにはよいことだと思います。これからも子どもの話を聞いていただける環境であってほしいと思います。	引き続き、どの学級でも取り組み、子どもたちが安心してかかわり合い、お互いのよさを認め合い、互いに高まり合う仲間づくりを進めていきます。 また、登下校時に起こっていることは、なかなか担任や地区担当の教員が、把握できていないこともあります。子どもたちが担任や担当に相談してよかったと感じられる関わりを持っていきたいと思えます。
<b>豊かな感性【つながる】</b> クラスの話し合いで自分の思いは言えるようになってきたようですが、生活の中では肝心なことを友だちに言えているかな？と思ったため、2にしました。	まずクラスでの話し合いの経験を通して、話してよかった、言っていくことが大切という経験を重ねることで、普段から気づいたことが言い合える子どもたちに育てていきたいと思えます。
<b>生きぬく基礎【すこやか】</b> まきの木台の新しくできたお店に子どもたちもよく行きますが、マナーなど気になります。	アンケートには店名も書いていただいていたので、直接店舗の方に話を聞き、子どもたちにも指導をしたいと思えます。場に合わせたルール、マナーを身に付けられるよう指導を続けていきますので、ご家庭・地域でも気づかれた時に、その場で「それはおかしい。」と注意してあげてください。

## ○学習・生活の支援体制づくり

保護者の皆様からのご意見	学校側の見解
<p><b>やり切る態度【じっくり】</b> アンケートNo.17「学校は少人数指導などていねいな指導をしていると思いますか」について、少人数指導などを行っていることは知っていますが、効果が上がっているかどうかはわかりません。</p>	<p>本校ではわかる授業事業推進校の指定を受け、主として算数の授業をT T体制で行なうことによる効果を研究しています。現6年生に5年生末に行なったアンケートでは、わからないことがあるとすぐ先生が来てくれて教えてくれるからわかりやすい、二人の先生が教えてくれるので算数が面白くなった・わかりやすくなったと回答してくれる子がたくさんいました。また、学力調査の点数に表れる結果も、算数A問題においては全国平均にほぼ並ぶところまでになりました。</p>
<p><b>やり切る態度【じっくり】</b> 漢字や書き方の細かいところは私が注意すると怒る時があるので、(家では意地になってしまう所も)先生などから言ってもらう方が自然に受け入れることもあると思います。</p>	<p>こうした子どもたちの姿は、中学年になった頃によく見かけられ、担任にもよく相談がある一つです。保護者の方ともよく相談をしながら、一緒に進めていければと思います。</p>
<p><b>やり切る態度【じっくり】</b> 教職員の残業をもっと減らす努力をしてほしい。専科、非常勤を増やして、担任は国・算だけを受け持つくらいの余裕があればと思う。中高のように教科ごとに教師が違って良いのでは？</p>	<p>小学校においても教科担当制を高学年において取り入れている学校も数校あります。本校では授業づくりの中で仲間づくりを大切にしていきたい、そのために一人ひとりの子どもたちをしっかりとみていきたいと考えていますので、専科の教員・非常勤を確保したり、T Tによる複数教員による指導体制の方が適していると考えています。次年度に向けて、教職員の勤務時間縮減は必須の課題となっていることから、加配教員の配置を市・県教育委員会に働きかけていますが、国の制度改革が進まない、予算不足、人材不足が深刻なため、今年度の加配教員確保も難しいという回答しか聞かれないのも事実です。</p>
<p><b>やり切る態度【やってみる】</b> アンケートNo.18「学校は一人ひとりの違いを受け止めて、子どもの理解・支援を適切に行っていますか」について、具体的にどのような事をしていただいているかよくわからないので教えてください。</p>	<p>学年・学級によっても取り組み方の違いはありますが、授業の振り返り、日記や連絡帳による一言のやりとりなどを通して、一人ひとりの違いを捉える機会を大切にしています。また、発達の過程は一人ひとり違うもので、具体的にどのように支援をしていくことがよいのか、スクールカウンセラーとも相談をしながら、日々の取り組みを進めています。家庭訪問などで直接保護者の方と話をさせていただいていることも理解・支援の一つにあたるかと考えています。</p>
<p><b>やり切る態度【じっくり】生きぬく基礎【まなぶ】</b> 宿題だとしようとするんですけど、自らはなかなかでするので、2にしました。</p>	<p>家庭学習振り返り週間の取組結果を見てみると、土・日にも何らかの学習に取り組もうとする子、休みの日に用事があるため平日にその分自主学習の時間を確保する子が増えてきました。また、自主学習も内容の違いはありますが、低学年から始められている子どもたちも増えてきています。「宿題をやりなさい。」というお家の方からの声かけがなくても取り組めていれば合格だと思いますが、高学年になるほど+αの学習が大切であることを、学校側も粘り強く子どもたちに伝えていきたいと考えています。</p>

## ○地域の方に学ぶ・人がつながる学校づくり

保護者の皆様からのご意見	学校側の見解
<p>顔を合わせる機会があれば、子どもたちの学校での事を話してくださり、とても心強いです。もっと、保護者参加型があってもいいと思います。4年生の炊き出し訓練に参加して、土鍋のご飯のおいしさに感動しました。家でも土鍋でご飯をたくようになりました。このような機会がなければわからなかったです。</p>	<p>保護者の方に、いろいろな行事で助けていただくことがあり、改めてお礼申し上げます。毎年、もっと保護者の方の参加型を増やしていいのではないかとのご意見をいただき、心強く感じています。一方で、土曜授業も増え、働く方が増えてきた現状の中、学校へ来てほしい、手伝ってほしいと言われてもそれができない保護者の方にとっては困りますという意見もいただいています(今年度も無記名の方の中にそのようなご意見がありました)。保護者の方に来てほしいけど来てもらえないという子どもたちへの配慮も必要になっています。</p>
<p>以前はオープンデーは、一日中のどの時間にでも見学が可能であったため、朝一緒に登校して、始業前や朝のHRの様子なども見させて頂きました。給食の配膳や掃除等も気になります。最近は、時間の指定があり、それが中学校と重なっていたりと、本当に知りたいと思うことがわかりにくくなりました。さまざまな理由があって現在のようになってきたのだと思いますが、できれば以前のように戻していただきたいです。</p>	<p>そのため、年間計画で決まっている月1回学校へ来ていただける機会と重ねて学年行事や保護者参加型授業を組む学年・学級が増えてきました。しかし、これも異学年で重なりがありますと、両方の学年に一度に参加できないから困るという意見に配慮しながら、計画をしなければなりません。そのあたりの現状はご理解ください。</p>
<p>調理実習や実験などに保護者の協力を募って行ったりも年に3回程度あったと思いますが、それも少なくなってきたように感じます。</p>	<p>また、オープンデーについては、様々な課題のあるお子様が増える中、子どもたちにとってデメリットと感じることもあって、現在のような時間指定となっています。が、基本は毎日オープンデーで、「ちょっと子どもの様子が見たいので。」と声をかけて来てくださる保護者の方もかなりみえます。中学校との重なりもできるかぎり避けたいとは思っていますが、そこも重ねて欲しいという要望もありますので、重なった分につきましても、別日にお越しいただければと思っています。</p>

## ○安全・安心な学校づくり

保護者の皆様からのご意見	学校側の見解
<p>いつもありがとうございます。運動会について書かせてください。今年も素晴らしい運動会になり、子どもの成長をひしひしと感ずることが出来るものになったと思います。ただ残念なことと言えば、あいかわらず、マナーの悪い親御さんがみえたことです。先生方やPTAのみなさんがあれほど頑張っているのに、喫煙、飲酒がなくならないのにはガッカリです。(個人的には発見次第帰っていただいてもいいのでは)と思っています。子どもたちはもちろん、他の大人も見ていますよ。あと毎年そうは思わないのですが、今年は音響が良くないと感じたのは気のせいでしょうか。スピーカーからの音がわれていて、せっかく先生方が良い音源を選ばれているのに、少し残念な感じがしました。</p>	<p>子どもたち自身もそうですが、保護者の皆様にも子どもたちの成長をしっかりと心にとめていただけるような運動会にしたいと思って取り組んでいますので、大変うれしく感じるご意見でした。ありがとうございます。一方で、マナーについては年々向上していると感じてはいますが、引き続きPTA本部役員の皆様とともに呼びかけをしっかりとしていきたいと思えます。音響については、実はおっしゃられる通りでした。中学校と隣接していることから、普段の練習では本番と同じ音響で練習ができないので、聞き取りにくい場所の把握とその対応ができていませんでした。次年度までには修繕・対応をします。</p>
<p>泊まりの活動があるときは、楽しんでるか気になるので、校長先生の速報はとても頼りになります。</p>	<p>お子様との会話のきっかけとしていただけていること、大変嬉しく思います。今後もそのような使い方がしていただけるように、HPや学校だより、学年・学級だよりの発行に努めてまいります。</p>
<p>HPやおたよりで子どもの様子がよくわかるので子どもと家で話をするときに使わせてもらっています。</p>	

保護者の皆様からのご意見	学校側の見解
アンケートNo.14「育ちのプログラムをもとにして、ご家庭でもお子さんの将来を見据え、言葉がけをしたり、支援したりしていただいていますか」について、「育ちのプログラム」をもとにするのではなく、生きていく上で当たり前に必要なことを当たり前に行えるよう教育しているつもりです。	想いや願いは全く同じだと思っています。生きていく上で当たり前に必要な力と考えてまとめたのが、育ちのプログラムだからです。また、育ちのプログラムはあくまで子育てや子どもの発達の一つの指標です。育ちのプログラム達成が目標ではないと考えています。時々機会をみつけて、気にして見ていただいて、お子様の成長を確かめていくのに役立てていただけるといいかと思います。

学校アンケートに限らずお気づきのことがあれば、その都度学校までご連絡をください。

また、「学校がやる気をもてほしい。」というご意見を意識して、保護者・お子様からのアンケート集約の分析と学校の考えを記述したつもりですが、そうは感じないということもあるかもしれません。そのように感じられたときは、遠慮されることなく、校長へ意見をください。そのお気持ちにすべて応じることはできないかもしれませんが、お子様のためを思っていて、なぜ考え方・捉え方が違うのかを話し合わせていただくことは可能かと思えます。そうさせていただくことが、何より大切なお子様のためになると思うからです。よろしくお願い致します。

#### 【4年生以上のお子様たちからもらった意見】

- ・ 4年生の意見      \* 5年生の意見      \*\* 6年生の意見

#### ○聴き合い語り合う授業づくりに関して

##### 【だいすき】

- \*\*クラブが楽しくないから楽しくする。      \*\*クラブを多くする。
- \*\*クラブの担当の先生を増やす。      \*\*図書の授業をちゃんとする。

##### 【つながる】

- \*自分の意見を言える機会を増やす。
- \*\*自分の意見を友だちに話して気持ちをわかってもらう。
- ・教室で勉強するだけでなく、本当にそうなのかみんなで近くに調べに行ったりして、社会見学とはちがう感じのことがあるといいと思う（ときどき）。
- \*みんなが手を挙げるように楽しく授業をする。\*みんなが手を挙げてみんなが発表する。
- \*みんな授業で意見が言いやすい環境を作る。それでみんな意見が言えるように。
- \*授業のときに今日習った範囲のクイズを出せば、楽しく学ぶことができると思います。
- \*授業は英語みたいにゲーム感覚でやると覚えやすいし楽しくなると思う。

##### 【やってみる】

- ・算数をがんばる。
- ・みんなで声をかけ合ってわからないところを教え合う。      ・みんなで勉強を教え合う。
- ・みんなが授業で困ったりしていたら先生やみんながやさしく教えるといいと思う。
- ・たのしく学んだり、わからないところを友だちに聞く。

##### 【まなぶ】

- ・たのしく勉強をする。      ・授業や勉強をたのしいと自分で思ってやる。
- ・たのしく授業をやればいい。      ・全校で学ぶ授業をすればいいと思う。
- \*勉強をしているときに楽しく、あまり怒らないようにする。
- \*\*勉強を教え合う。勉強がわかると学校が楽しいから。

※生徒型の教え方（1対1で教える、わからない子の気持ちになって教える、中学生のような教科担任制などが予想されます。）を先生がする。

## ○支え合う仲間づくりに関して

### 【つながる】

※一人でいる人のないようにする。

\*学年のみんなが仲良くなること。 ・友だちと仲良くする。

※よいことも悪いことも声をかけあえる。 ※教室のボールをもう一個増やす。

### 【やってみる】

※思ったことをすぐに言うんじゃなくまず静かにする。

・全校で集まって授業に関わるクイズや話をしたらいいと思います。

### 【すこやか】

※うわさなどにながされない。 ※けじめをつける。 ※決まりを守る。

・全校のみんなが学校で決まっているルールを守る。

\*ルールを守る。 \*ルールをちゃんと守る。

・学校のルールや先生の言うことをちゃんと聞けたらもっと楽しい学校になる。

※学校のルールを守るとけが人が減る。

・ろうかを走らないとか学校のルールを守ってけがをしなければたのしい学校になる。

・一人ひとり悪口を言わない。

\*自分にとっては何ともない一言でも傷つく人はいるのでその言葉の意味をよく考えて人と接するといと思います。

### 【まなぶ】

※人権教育に力を入れる。

## ○学習・生活の支援体制づくりに関して

### 【だいすき】

\*学習環境を整えること。

※トイレをきれいにする。 ※トイレの臭さをなくす。 ※トイレに消臭剤を置く。

※理科室の変なおいを取る。 ※教室をきれいにする。 ※先生の机の上もきれいにする。

### 【つながる】

・いろいろな人にあいさつをする。 ※もっと全校で遊ぶようにする。

\*全校での交流の時間を増やす。

・30分休みでみんなが楽しめそうな遊びをする。

※30分休みに行事を入れるのをやめる。

※駆け足タイムはなぜするのか。30分休みにかげ足をすることをやめる。

・1週間に1回全校でおにごっこをする。 ・遠足や特別なことを続けられたい。

\*たてわり班やきょうだい班の活動を増やす。

\*児童大集会で勉強しながらスタンプラリーなどをする。

\*1か月の終わりなどに先生が決めて学年やきょうだい班で遊ぶ時間を作る。

\*土曜授業の時にたてわり班での交流をする。

### 【やってみる】

・授業の時間を50分にする。 ・読書の時間を長くする。 ※読書の時間を増やす。

- ※※帰す時刻を守る。 ※※5分休みではトイレに行けないので、10分休みにする。
- ※※毎日学校の授業を5、6限にする。 ※※授業と休み時間の切り替えししっかり。
- ※※ほかの学年との交流。
- ※※シャープペンシルを持ってきてもいいようにする。
- ※※ネックウォーマーをつけてもいいようにする。

## ○地域の方に学ぶ・人がつながる学校づくりに関して

- \* 地域の人たちとの交流。      ・土曜授業を増やす。      \* 学校フェスタをする。

## ○安全・安心な学校づくりに関して

- ・ろう下を走っている人に声をかける。
- ・※※いじめやなかまはずしをなくす。(7人)      ・いじめを見たら注意する。
- ・いじめをなくして、相手がいやな気持ちになるようなことをしないよう心がける。
- ・いじめをなくしたり、学校の約束を守ったらいい。
- \* いじめや差別をせず勉強に取り組んだら楽しいと思う。
- ※※命を大切にする。      ※※仲良くする。
- ・何かなやんでいる人をもし見たら「どうしたの」とか「なにがあつたの」と話しかけて、それでも泣きやまなかったら先生に言う。
- \* 遊ぶ時間をちゃんとつくる。
- ※※机も椅子もぐらぐらしないようにする。      ※※エアコンをつける。
- ※※和式トイレをなくす。      ※※みんながトイレの和式の便器のまわりを中心に掃除する。
- ※※流れにくいトイレを修理する。      ※※トイレのドアをスライドドアにする。
- ※※トイレを明るくする。 ※※個室のトイレットペーパーの置くところをもっと広くする。
- ※※トイレの掃除用の靴をもうひとつ増やす。      ※※洋式の便座を暖かい物にしてほしい。
- ※※男子トイレのブラシの数を増やす。      ※※掃除道具をきれいに新しくする。
- ※※空気清浄器を置く。
- ※※網戸をつけてカメムシが入って来ないようにする。
- ※※教室の戸を開けやすいようにする。
- ※※教室の戸をなくす。      ※※教室のロッカーを広くする。
- ※※荷物置き場を増やす。      ※※水道の水を温かいのも出るようにする。      ※※遊具を増やす。
- ※※先生の声をもうちよっと小さくする。      ※※おもしろい先生にする。

子どもたちからの意見の中で、施設改善が多く出されました。エアコン設置のように、四日市市も平成30年度設計・業者選定、平成31年～32年度市内小中60校の普通教室に空調設備設置、平成33年度から運用開始と決まっている物もありますが、ほとんどが「大規模改修までできません。」と言われていることばかりで、不便をかけているなあと思っています。

校長として4年間も保々小学校を預かり、「学ぶことが楽しい学校づくり」を目標に掲げ、子どもたちには「心の計算」を身に付けていくことで、みんなで保々小学校で学べたことを喜び合える、そんな学校にしたいと思って今日まで努力してきましたが、もう一度子どもたちがどんな子に育ってほしいのか、どんな保々小学校がみんなが望む学校の姿なのか、考え合い・考え直したいと思わせてくれた学校アンケートでした。

### 3学期が始まって10日間が経ちました。

9日（火）に始まった3学期も1週間が経ちました。始業式の日には8名の欠席で、インフルエンザに罹患している子もいて、そこへ先週の大寒波でしたから、子どもたちの欠席が増えないかと心配をしていましたが、手洗い・うがい・休み時間の換気・必要な子はマスク着用、この4点をセットの取り組みと保護者の方のご協力により、この月曜日の欠席者は7名と少なくなり、元気な様子で3学期2週目のスタートを切ることができました。今週は土曜授業もあり、PTA学級委員選出会議（1～5年生・1限目）もありますから、このままの様子で過ごすことができるようにと思っています。しかし、5年生でインフルエンザに罹患している子もいますので、油断はできません。4点セットの取り組みを確実に全員で進めたいと思っています。この土曜日に万が一学級閉鎖があったとしても、1限目に予定をしていますP学級委員選出会議は、予定通り行います。お子様が発熱などで欠席し、看病のため離れられないという場合は、登校班に子に頼んで、委任状を出していただきますよう、よろしくお願い致します。



### 3年生 音楽コンサート開かれる。

「ポップメイツ」という音楽大好き集団の方々がみえます。以前から保々保育園で演奏をして、子どもたちを楽しませてくれていた音楽グループで、音楽を通して心を通わすことを大切に活動をされています。そしてポップメイツさんのもう一つの活動の目的は、障がいに対する双方にある垣根（壁、偏見、思い込み）を無くしたいという思いがあります。



保々保育園の先生からポップメイツさんの活動の話聞いて、3年生の先生方が今の3年生ならきちんとその想いを受け取る力がある、その力がつけられる機会になると考えて、お願いをしました。すると、メンバーから「快く引き受けさせていただきます。」という返事をいただき、今回の音楽コンサート開催となりました。保護者の方への参加呼びかけが急なお知らせになったにも関わらず、10名の保護者の方が一緒にコンサートを参観いただきました。

メンバーの中には、本校の卒業生もいました。私は直接担任はできませんでしたが、その学年の担任を6年生の時にしていて、その再会を楽しみにしていました。演奏するその姿は堂々としていて、卒業をして12年経ちましたが、この間に心身ともに成長した姿は、人権課題を無くしたいと活動をする先輩として、3年生の子どもたちの心にもしっかりと受けとめられたと思います。コンサートの間に話をしてくれた方がその方です。その話の中で、ご自身の見た目の違いは一人ひとり少しずつ違うのと同じことだということ、4月は大嫌いで、新しい友だち（私のことを知らない人）と出会うと「へんな顔」「おばけみたい」と言われて、とても辛い思いをしたこと、でも小学校の時から仲間や先生が支えてくれたこと、守ってくれる父母がいて前に進むことができたこと、自分を守ってくれて相談できる人がいて安心できたこと、だから私のような病気の人がいることを知って欲しいということ、相手を知ろうとする気持ちをみんなが持って欲しいということは、力強いピアノ演奏やベルのきれいな音色とともに、3年生の心の中にしっかりと届いたと思います。